

# 「ライフ」という映画に描写される学校の中にある苛め事件に対する環境の 分析

## 序論

1980年からいじめの事件が日本に流行り始まり、だんだん増えていくことになる。このことは日本社会に悪い影響を与える。「苛め」の意味は自分の団体に弱いものを馬鹿にするために行われたよくない行為である。したがって、本当の目的は肉体的、口頭的、心理的及び社会的に苦しめてほかの人の精神を苦しめることである。

「苛め」という行為は状況がふさわしかったら、どこでも、いつでも、誰でもおこなえる。「苛め」の最も強い原因になる要素は相違及び権力である。日本の社会は二つの類義があってそれは団体生活と同様である。したがって、違うものがいれば、その人が憎まれることが普通なことである。権利及び力があることで、その団体はやりたいことがなんでもできる。

この「苛め」の現象が流行っていることが「苛め」が映画、漫画及び小説のメイン・テーマにされることが多い。その一つは「すえのぶけいこ」が書いた「ライフ」という漫画より作られた「ライフ」という映画である。

「苛め」の原因は加害者及び被害者が体験するストレスである。そのストレスの原因は学校の授業、教師、友達及び家族である。この4つの原因に関わる出来事はやりすぎと思われて、たとえばいい成績に対する家族の需要、不公平と思われる教師と、友達との問題などである。

「苛め」葉社会に悪いいきよを与えて、自殺までする人もいて、学校をさぼること、無職になってから、犯罪が増加になる。「苛め」の被害者はあんなに失望してしまうため、転校するに頼まれることが多い。

## 本論

「ライフ」という映画は「西校」という学校に苛めのことがあった。「あゆむ」という主人公が「あんざい」と知り合いになった。歩は愛海と友達になることができると思ったが、愛海が歩を苛めし、馬鹿にし、そのうえグループの仲間と歩に悪いことをした。愛海は誤解だけで、学校中の生徒に歩を憎ませることもできる。その誤解は「かつみ」のせいである。克己は愛海の彼氏で、彼は愛海に歩が彼を愛海から奪うと言った。

この映画において、「あゆむの母親」を代表にすることで苛め問題に対する家族の役を見ることができる。歩の母親の役目はよくないである。なぜならば、彼女は自分の子の面倒をみていない。したがって、彼女は歩が学校で苛めの被害者になることも全然知らなかった。このことで、彼女はその

ことがわからない、原因は、歩は親にあまりしたくないし、言いたいことも聞きたくない。彼女は授業、点数及び成績を話したら、いつも歩にかなり有名な学校でいい成績をさせる。

ほかの悪い役目は学校で起こった苛めの問題を無視し、隠す教師達及び校長の反応である。彼らはそのことを知らないふりにしている。彼らは事実を知らずに、歩が有罪だと思う。しかし、実際は安西はこの件で有罪である。彼らは安西を疑う勇気がない、なぜならば、安西はその学校の寄付者の娘のからである。したがって、学校は真実より権力のを大事にする。それはこの学校で起こる苛め問題に起こることである。学校も校内及び校外の問題を隠すようである。つまり、学校で何も起こらないように自分の学校の名誉を守るためである。

一方、見られるいいことは平岡先生が学校で起こる苛めを対してしたことである。平岡先生はほかの教師と違って苛めの問題を無視しない一人の教師である。ほかの教師達及び校長も平岡先生がその苛めの問題などという生徒の問題に手を出しすぎと思ひ、平岡先生を憎んだ。平岡先生がやったことは学校に迷惑をかけると思われる。例えば、生徒の自宅及び両親にアンケート調査を行うときである。平岡先生がやったことが学校の名誉を悪くする

。自分のかなり勇ましい行動のため、平岡先生はつい学校から解雇され、退職させられた。

## 結論

このように「ライフ」という映画に起こった苛めのことは現実の世界でも起こり、被害者及び加害者に悪い影響を与えることができる。この苛めの問題を無視することに頑張る人が多くても、このような行為を再び起こらないように防ぐ人もいる。例えば、平岡先生がやったことのようにである。

被害者及び加害者のほかに、親もこの苛め問題においても影響を持つ。この映画に見られるように娘を無視する歩の母親は歩を失望させ、親から支援でももらえないと思わせた。

## DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR .....	v
Daftar Isi .....	viii
BAB I PENDAHULUAN .....	1
1.1 Latar Belakang .....	1
1.2 Pembatasan Masalah .....	5
1.3 Tujuan Penelitian.....	5
1.4 Metode Penelitian.....	5
BAB II <i>IJIME</i> DI SEKOLAH.....	10
2.1 Definisi <i>Ijime</i> .....	10
2.1.1 Korban <i>Ijime</i> .....	14
2.1.2 Pelaku <i>Ijime</i> .....	15
2.1.3 Tindakan <i>Ijime</i> .....	16
2.3 Akibat dari pada <i>Ijime</i> .....	21
2.4 Respon Sekolah.....	22
BAB III <i>Ijime</i> di sekolah dalam Film <i>Life</i> .....	27
3.1 Peranan keluarga dalam kasus <i>ijime</i> .....	27
3.2. Peranan sekolah dalam kasus <i>ijime</i> .....	37
3.2.1 Peranan negatif.....	37
3.2.2 Peranan positif.....	55
BAB IV_KESIMPULAN.....	64
DAFTAR PUSTAKA .....	70
RIWAYAT HIDUP PENULIS .....	72